資料提供　１１月２０日　１５時

石川県立自然史資料館
担当　杉澤　寿治
金沢市銚子町リ 441
Tel (076) 229-3450
Fax (076) 229-3460

石川県立自然史資料館　自然史講演会

「みんなの知らないキノコの世界」の開催について

１．概要　　縄文時代から人との関わりが見られるキノコ。森の生態系における役割や多様な姿、人との関わりなどを通して、その不思議な世界と魅力を紹介します。

２．日時　　11 月 28 日（土）　14：00～16:00

３．講師　　都野 展子 氏　　金沢大学理工研究域 生命理工学類准教授

４．会場　　石川県立自然史資料館　２階　コミュニケーションホール
〒920-1147　金沢市銚子町リ 441 番地

５．主催　　石川県立自然史資料館

６．対象者　どなたでも聴講できます

７．申込　　不要

８．参加費　無料

９．問い合わせ先　　石川県立自然史資料館　電話 076-229-3450

※　自然史資料館ホームページ　https://www.n-muse-ishikawa.or.jp/

10．備考　　添付したチラシをご参照下さい。

石川県立 自然史資料館

自然史講演会

みんなの知らない キノコの世界

どなたでもご参加できます

11月28日（土） 14：00～16：00

会場：石川県立自然史資料館　2階コミュニケーションホール

講師：都野 展子氏　（金沢大学理工研究域　生命理工学類准教授）

都野先生のprofile



長崎県で生まれ育ちました。京都大学農学研究科でキノコ食昆虫の研究で農学博士を取得しました。最初の就職は長崎大学熱帯医学研究所で疾病媒介蚊の研究に従事。2007年から金沢大学理学部生物学科（当時）に赴任し現在も金沢大学理工研究域生命理工学類に勤務しています。趣味は岩・氷登り。時々落ちて骨折しています。

message

キノコを身近に見ることが多い季節になりました。私がキノコについて一番よく聞かれることは食べられるか食べられないか、ということです。

この質問は直感的にキノコは食べ物とみなされていることを示していると思います。私も森の中に落ちているお饅頭のようなキノコがだれに食べられたくて発生しているのか、について興味を惹かれて調べてきました。まずキノコを食べる動物として重要なグループは昆虫でしょう。それから私たち人間も含め哺乳動物にもキノコ食がよくみられます。キノコと昆虫、キノコと哺乳動物の関係はそれぞれ地球の進化史のなかで、違う時期に誕生したことが推測されています。キノコと動物がどのような関係性を育んできたのか、その背景となる地球環境の変化も合わせて考えながら紹介させていただこうと思います。

申込不要

入場無料

駐車場完備

石川県立自然史資料館　（金沢市銚子町リ４４１番地）

TEL：076-229-3450　URL：https://www.n-muse-ishikawa.or.jp/

FAX：076-229-3460